

第3回旧与謝小学校活用検討委員会 議事録

開催日 令和2年10月30日（金）午後7時30分～午後9時30分

場所 与謝野町加悦庁舎 元気館農事研修室

出席者

（委員）18名

（事務局）4名

1 開会

2 委員長挨拶

3 報告

（1）第2回旧与謝小学校活用検討委員会後の報告事項について

「与謝野町学校施設等の跡地利活用のための基本方針」については、どれくらいの進捗状況か？進捗のめどは？

⇒案を作っているところ。コストだけでなく利活用の検討をしている。方針は地元の方が利用する際は、土地等使用料の減免等、特別な設定の必要を考えている。町有財産活用推進委員会、教育委員会の議論を経なければならない。

いつその方針ができるか懸念している。廃校前から持っておくべきだった。これが進捗しない大きな原因である。

⇒早くするように努力します。

方針は与謝小学校が統廃合するときにあるべきだった。岩屋小、桑飼小学校は町が主導で給食センター、福祉施設等になった。与謝小学校はなぜ地域に投げかけるのかが理解できない。ビール事業は大賛成だ。早く与謝野ホップ振興協議会に委ねないと今後の話が進まない。

⇒スピードが遅いことはお詫びする。岩屋小学校は地域での活用を検討したが、決まらず給食センターとなった。与謝小については、実際の検討に合わせてルールをまとめたい。

与謝保育園については、今は物置として活用と聞いているが、与謝保育園も与謝小学校と一体的に活用を検討すべきでは？

⇒ご指摘のとおり与謝小学校だけでなく、与謝保育所もイメージしたいと考えている。

町のスタンスが決まらない。新しい方針がないと進まない。現状を打開していかないといけない。

⇒町には公共施設の利活用のルールがある。利活用を地域で検討するときは検討委員会を作ることとなっている。桑飼小学校は認定こども園、福祉施設が地域の検討前に決まった。一方で与謝野酒造さんから与謝小学校を使ってクラフトビール醸造所の話を受けた。町として検討し、町の提案として本検討委員会に提案をした。与謝小学校は地域で検討する初めての事例となることから方針は廃校前に決めておく方が円滑に行ったと私も思う。しかし町の内部が未整理であり、皆さんにはご迷惑をかけている。

教育委員会の方針が決まる前に、当委員会で検討するのか？

⇒その通りです。

方針が先にいるのでは？この委員会で何を検討するのか？クラフトビール醸造所は反対しない。

⇒「公共施設等総合管理計画実施計画」において、小学校を利活用するにあたり、「与謝野町学校施設等の跡地利活用のための基本方針」が、必須というものではない。この間議論が進まない状況から、担当2課において、小学校の統合計画での利活用の位置付、休校、廃校での公共施設建設と、地域での利活用検討とのバランス、そして与謝小学校が、今後の先行事例となる。これらを根拠として、「与謝野町学校施設等の跡地利活用のための基本方針」を作成して、検討の根拠とするとともに、スピードアップを図ることが必要との議論から、方

針の作成を進めることとした。初回の検討委員会で財源の質問があり、個人的意見として「桑飼小学校の町費支出は今後の参考になるのでは」と回答したが、そういったことをこの与謝小学校活用検討委員会の検討内容に反映し、並行して「方針」を作成していくことでどうかと考えている。本日を含め、3回の検討委員会で出た意見は、方針の作成に反映されると考えるので、これまでの検討が無駄ではない。

内容がよくわからない。ついていけない。クラフトビール事業はは全体の一部か。それ以外もこの委員会で検討するのか。出席している委員はどのようにかわるのか。

⇒9月4日の第2回旧与謝小学校活用検討委員会では与謝野酒造を先行して活用してもらうことの提案だった。混乱させて申し訳ない。しかし本日は案1に再度修正した。つまり与謝小学校全体を、この検討委員会で検討していただく。

4 検討事項

(1) 方針の再変更について

事務局から、配付資料P5、P10を説明。

⇒本日出席の委員で与謝野ホップ振興協議会にかかわりたい方は、協議会に入ることも可能。P7を説明。令和2年12月には基本方針の素案を作成したい。素案にはこの会議の議論も盛り込みたい。

(議長)

本日の会議の変更点は以下の4点です。

- ① 方針をp8の案1に再度戻す。
- ② 事業予定期間をR2～R4に変更する。
- ③ 実務を与謝野ホップ振興協議会とする。
- ④ スケジュールの変更。

変更スケジュール案のとおりに進めてほしい。

⇒12月を目途に基礎を固めたい。

教育委員会の基本方針が一番問題だ。今後も町内で廃校が出る。今後に影響するだろうからよく研究してほしい。出来るだけ入ってもらい易いように賃料を安くするなど考慮してあげてほしい。

⇒利活用しやすい環境を整えたい。

与謝野ホップ振興協議会の進捗状況はどうなっている？

⇒発足は書面で実施した。町が事務局であるが、コロナもあり活動はほとんどできていない。

今日の提案内容について、今後変更がないように。

⇒最後のつもり。

(1) については承認されました。

5 その他

(1) クラフトビールの醸造工程等について

事務局から説明 (p 13～17)

(2) 視察研修について (p 18～20)

事務局から説明

⇒委員長、副委員長、事務局で相談する。(現地集合等)

⇒12月初旬予定で丹後王国、出石城山ビールを調べる。

以上

第3回旧与謝小学校活用検討委員会次第

日時 令和2年10月30日

午後7時30分～

場所 元気館 農事研修室

1 開会

2 委員長挨拶

3 報告事項

- (1) 第2回検討委員会後の状況について

4 検討事項

- (1) 方針の再変更について

5 その他

- (1) クラフトビールの醸造工程等について

- (2) 視察研修について

6 閉会挨拶

報告事項

(1) 第2回検討委員会後の状況について

<9/4 第2回検討委員会>

1. 第2回検討委員会では、町からの提案である、与謝野酒造が希望するR3年の開業に対応するため、スピード感を持たせた（案2）に変更し進めることを承認した

<9/5～10/6>

（町の状況）

2. 与謝小学校を活用するための、貸付料等使用条件、耐震補強の有無や対応の考え方、地域振興支援等について、町は検討の最中であり、まだ時間を要すると思われる
3. 時間を要している主な原因は
 - 「公共施設等総合管理計画実施計画」には、解体による効果額は示されているが、廃校の利活用については積極的な印象（⇒進展あり：4番）
 - 厳しい財政状況
 - 与謝小の廃校活用が先行事例となるので慎重になっている
4. 教育委員会では、「与謝野町学校施設等の跡地利活用のための基本方針」の策定に着手した（⇒次ページ）

（与謝野酒造の状況）

5. 与謝野酒造は、町の検討内容・検討時間から耐震補強や維持管理等の経済リスクを懸念している、またスピード感を心配している
6. 与謝野酒造は、木内酒造に専門的視点で与謝小を見てもらうなど、事業計画作成を進めている

公共施設等総合管理計画実施計画

(P116) 与謝小学校

平成 32 年度に加悦小学校に統合された場合、計画期間残年数 26 年×年間管理コスト 8,236 千 円の 214,136 千円 と公共施設 白書・基本計画による建替えコスト 842,160 千円の 1,056,296 千 円の効果があります。そこから解体コストの 102,080 千円を差し引いた 954,216 千円が効果額になります。

(P117) 小学校

また 一方で、廃止後の学校の利活用という課題があります。この計画とは別に計画実行していくことになりますが、廃止したままでも維持を行わなければならず、転用・売却・解体などによりコストを削減していく必要があります。



<教育委員会>

「与謝野町学校施設等の跡地利活用のための基本方針」を作成する



<当検討委員会>

上記方針に基づき「旧与謝小学校利活用計画（案）」を作成する

検討事項

(1) 方針の再変更について

- 10月7日の与謝野酒造との協議において、先方から次のとおり報告と提案がありました。
- 時間は要するが(案1)の「クラフトビール醸造所を核とした複合施設」を目指すことが地域の活性化のためになると考える。
- よって、R3年の開業は検討しなおし、検討委員会とともにしっかりと活用計画を立て、山村活性化対策事業(ソフト事業)の期間である3ヶ年(R2~R4)で検討・実現したい。
- ただし、町からの使用条件等で計画を断念(変更)せざるを得ない可能性も理解願いたい。



以上から、次のとおり再度の方針変更を提案するものです。

1. 改めて(案1)の「クラフトビール醸造所を核とした複合施設」を目指すこととする。
2. 検討の期間は、R2~R4とする。
3. (案1)「クラフトビール醸造所を核とした複合施設」の実施計画の検討実務を、山村活性化対策事業(ソフト事業)の事業主体である「与謝野ホップ振興協議会」に委任する。当検討委員会はその検討内容を審議する。また、進捗を管理する。
DPIO
4. 進め方として、別紙「スケジュール(案)」を参考とする。

検討委員会の経過

検討委員会	第 1 回 (7/17)	第 2 回 (9/4)	第 3 回 (10/30 提案)
町の提案	案 1	案 2	案 1 に再変更
提案の主な内容	・校舎全体の統括管理者の選定 ・与謝野酒造を含め他の利活用者の募集	・統括管理者の選定は後年度に送る ・町の直接貸付等個別での利活用を可能とする（与謝野酒造の先行利用が可能）	・案 1 を基本として目指す ○統括管理者の地元からの選定を目指す ○町は校舎の使用条件等を示す ○利活用者の募集
与謝野酒造開業希望時期	—	R 3 年度を希望	遅くとも R 4 年度 (山村事業の期間 R2～R4)
公共施設等総合管理計画 実施計画	基本とする	基本とする	教育委員会が「与謝野町学校施設等の跡地利活用のための基本方針」を作成する
旧与謝小学校利活用計画 (審議・承認)	検討委員会	検討委員会	検討委員会
旧与謝小学校利活用計画 (検討実務)	検討委員会	検討委員会	与謝野ホップ振興協議会に委任

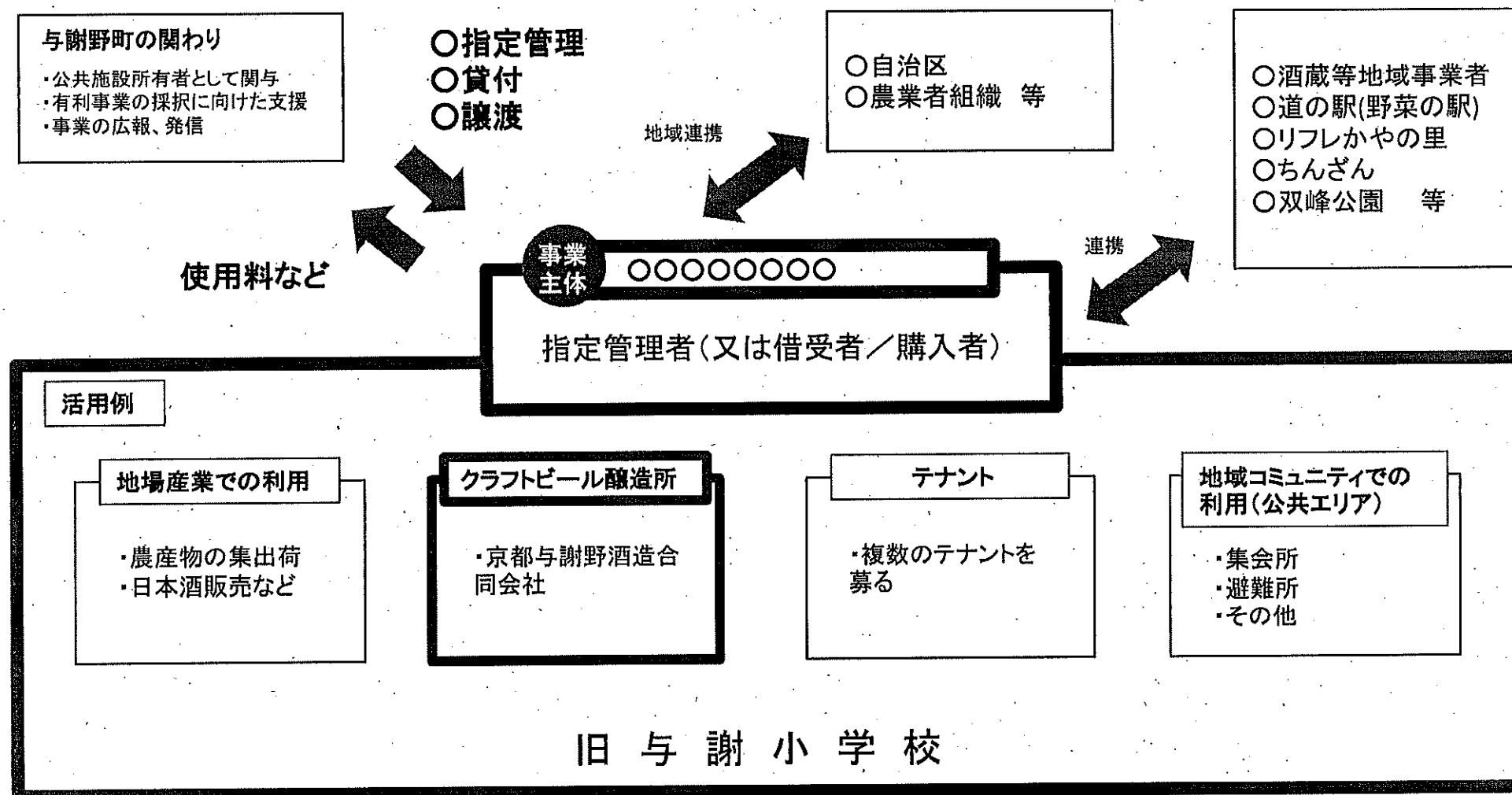
旧与謝小学校活用の検討 スケジュール(案)

R2.10.30

担当	年度	R2年度						R3年度				R4年度	備考
	項目	R2 10月	R2 11月	R2 12月	R3 1月	R3 2月	R3 3月	R3 4-6月	R3 7-9月	R3 10-12月	R4 1-3月	R4 4月～	
検討委員会	検討委員会	第3回		第4回					7月 任期	第2期・第3期			任期＝1年
	廃校利活用の 基本方針	素案の検討			基本部分の決定			詳細部分の決定					教育委員会
	旧与謝小学校利 活用計画	検討案の審議・承認 / テナント公募の審査 / 検討実務の進捗管理											定期的に検討委員会 を開催
	地域合意								地域説明会				町から検討状況の広 報を行う
	検討結果の提言								7月 中間報告				町長へ
ホッ プ 振興協 議会	旧与謝小学校利 活用計画	統括管理者(事業主体者)の選定											地域からの選定を目 指す
		耐震の簡易調査・不動産鑑定											
		公募案の作成						公募					テナント
					共通部分の整備計画								駐車場、共同トイレ、 外構などを想定
京都与謝野酒造合同 会社		事業計画作成										工事 ～ 開業	
町	建設・整備に係 る補助事業	事業の検討・国との協議							事業計画案作成		2月 計画書提出	採択～ 事業実施	山村整備事業 (R4～R6)

※これは(案)であり、今後、予算確保、議会説明、議会承認等が必要です。また、与謝野酒造合同会社の事業方針は場所を含め確定しているものではありません。

「クラフトビール醸造所を核とした複合施設」のイメージ(案1)



旧与謝小学校の活用(案2)

与 謝 野 町

各主体者(入居者)と使用貸借契約または譲渡

クラフトビール醸造所

・京都与謝野酒造合同会社

他の利活用

- ・複数の利活用を募る(全国公募)
- ・検討委員会で審査

地域での利用

・集会所など

入居者で管理組織を設置

※グラウンド、体育館は町が管理(社会体育施設、避難所)

山村活性化対策事業について

令和2年10月30日

与謝野町農林課

事業名

山村活性化対策事業（農林水産省補助事業）

事業目的

与謝地域の関連団体が連携・協力し、地域農産資源を活かした地域内経済の循環、地域活性化を図る。

- 1) 地域農産物（ホップ）、産品（クラフトビール）の振興
- 2) クラフトビール醸造所の立地に向けた検討、計画、合意形成
- 3) ホップ、クラフトビールの振興を通じた公共施設（与謝小学校含む）の活性化

事業期間

R2年度～R4年度の3年間

事業費

R2年度 9,737,000円（国100%）

事業主体

与謝野ホップ振興協議会

協議会の構成員

京都与謝野ホップ生産者組合

与謝農業振興会

与謝地域山村活性化協議会 リフレかやの里運営協議会
検討

（有）あつぷるふあーむ

京都与謝野酒造合同会社(※)

（株）かや山の家運営委員会(※)

与謝野町スマートグリーンビレッジ確立協議会

元与謝野町地域おこし協力隊員

（※）＝クラフトビールの醸造、販売の関連で参画

与謝野町農業委員会

滝・金屋農業振興会

リフレかやの里運営協議会

（有）誠武農園

WILLER TRAINS(株)(※)

（株）ローカルフラッグ(※)

与謝野町農林課

事業実施体制図		
	団体名	担当業務(役割)
協議会 構成員	京都与謝野ホップ生産者組合 【会長】	ホップ生産に関すること 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	与謝野町農業委員会 【副会長】	農業分野による支援
	滝・金屋農業振興会	農業分野による支援 よさの野菜の駅(道の駅)の活用
	与謝農業振興会	農業分野による支援
	与謝地域山村活性化協議会 【監事】	山村地域(与謝地域)の全体調整 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	(有)あつぷるふあーむ	地域法人として農業分野による支援
	(有)誠武農園	地域法人として農業分野による支援
	リフレかやの里運営協議会	加工品の製造に関すること
	与謝野町スマートグリーンビレッジ確立協議会	ICT農業の推進に関すること スマート農業の推進に関すること 産官学連携に関すること
	京都与謝野酒造合同会社	クラフトビール醸造に関すること 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	㈱かや山の家運営委員会	クラフトビール醸造に関すること 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること 農泊推進事業との連携
	㈱ローカルフラッグ	クラフトビール醸造に関すること 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	WILLER TRAINS㈱	クラフトビールの流通・販売促進に関すること 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	元与謝野町地域おこし協力隊	ホップ生産に関すること 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	与謝野町農林課 【事務局】	事務局運営の統括 町内部の関係部局との各種調整に関すること
連携 団体	滝区	地域との連絡調整
	金屋区	地域との連絡調整
	与謝区	地域との連絡調整
	加悦地域農泊推進協議会	農泊推進事業との連携
	与謝野町観光協会	観光分野での連携 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること
	与謝野町商工会	販売促進活動への助言・提案 地域ブランドの確立・販路拡大に関すること

クラフトビール醸造事業

■戦略プラン①

与謝野ホップ・クラフトビールの品質向上、
与謝野クラフトビールの商品化

■戦略プラン②

与謝野ホップ・クラフトビールの販路拡大、
ファン拡大、ファン拡大

■戦略プラン③

クラフトビール醸造所(直売所、レストラン、
地域の集会所等を含む複合施設)の立地に
向けての取り組み

- ・ホップ栽培のノウハウ蓄積
- ・クラフトビール醸造の研究
- ・醸造所を核とした拠点のあり方を検討・調
査・計画づくり

事業
執行

- 淹・金屋農業振興会
(よさの野菜の駅(道の駅)での販売促進
協力)
(パッケージ商品の開発等)

- リフレかやの里運営協議会
(加工品の開発、ビール以外へのホップの活
用検討)

- 与謝野町スマートグリーンビレッジ
確立協議会
(ICT農業の観点から、担い手の育成、生産
性の向上)

- 京都与謝野酒造合同会社
 - (株)かや山の家運営委員会
 - (株)ローカルフラッグ
 - WILLER TRAINS(株)
- 本町が設けている与謝野町農林業振興
事業提案等登録制度にホップ/ビール
関連で提案をされて登録された者

連携・監督

与謝野町(事務局運営統括、監督、行政機関との調整)

連携団体

地域住民

与謝区

淹区

金屋区

与謝野町観光協会

協議会と連携し、ホップ・クラ
フトビール普及活動の実施を
する。広報・PR等の後方支
援。

加悦地域農泊推進協議会

協議会と連携し、当該事業以
外のコンテンツの提供をし、
ホップ以外の付加価値をつけ
る。

与謝野町商工会

協議会と連携し、販売促進
活動への助言・提案。

麦

主に麦芽化された大麦。
小麦、ライ麦、オート麦も使われることがある。
麦芽化されないものを使うこともある。



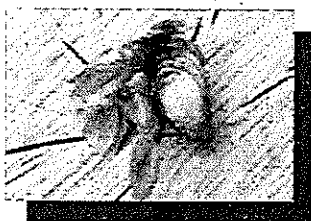
モルト (ロースト)



モルト (ペール)

ホップ

アサ科のツル性多年草植物。
和名は西洋唐花草。松かさの
ような形をした穂花をつける。
この穂花の中に苦み成分の素
となるルプリンがある。



ホップ

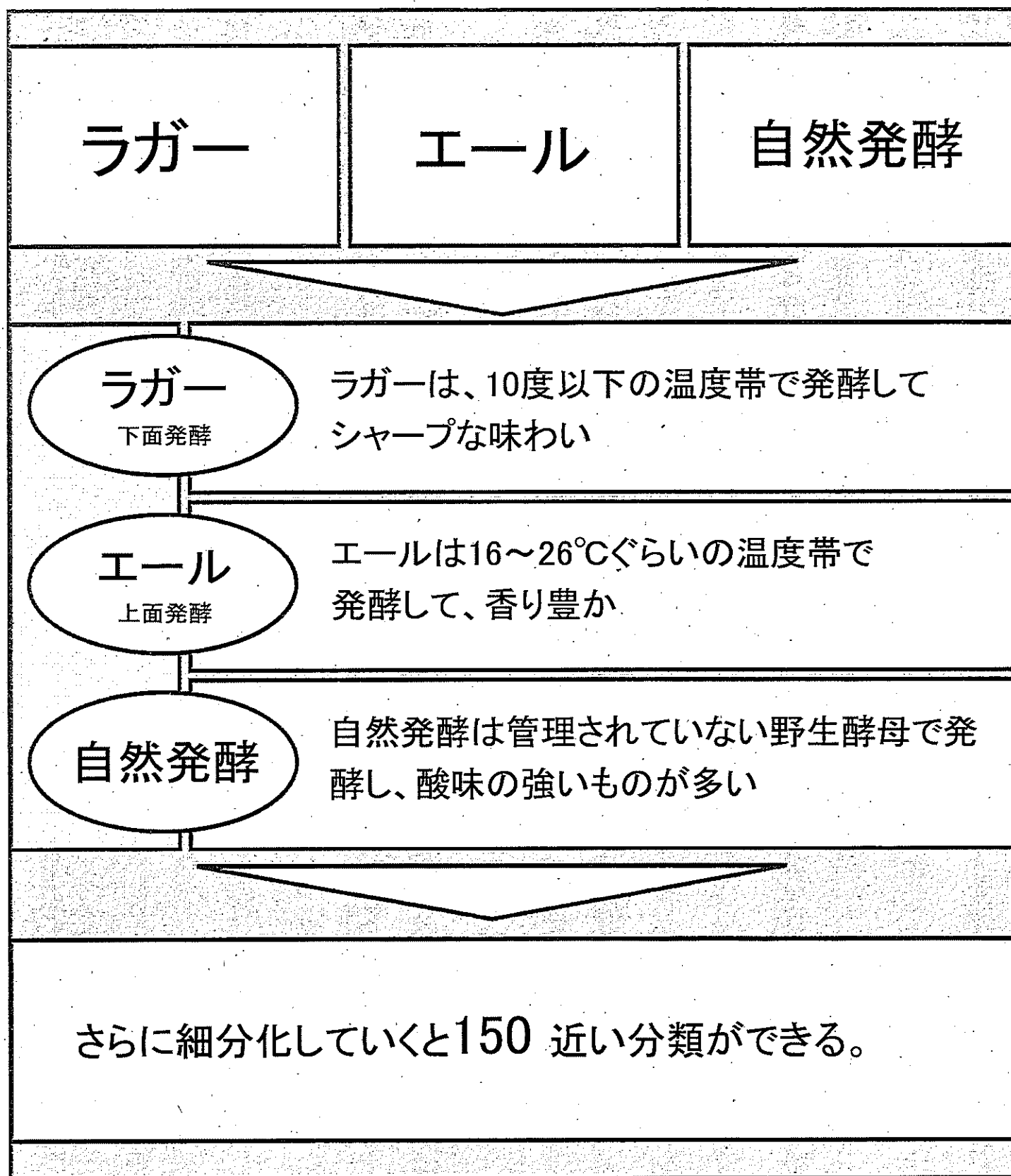
酵母

菌類の一種。糖分をアルコールと二酸化炭素と副産物に転化する。
ビールの発酵に利用されるのは主にサッカロマイセス(サッカロミケス)属。
サッカロマイセス属の中にも様々な種がある。

水

硬水と軟水に分けられる。
糖化、スパージングなどの時に使われる。

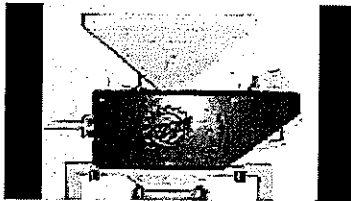
これだけは覚えておきたいビールの分類



[くめざくら大山ブルワリー](#) > [大山Gビール](#) > 大山Gビールの作り方

大山Gビールの作り方

原料の用意



麦芽をこの機械の上から入れると、回転する2本のローラーにより細かく粉碎されて出てきます。こうすることで麦芽に含まれている物質を効率よく抽出することができます。



糖化・ろ過



温水の中に麦芽を入れると、麦芽に含まれていた酵素がデンプンを糖分に変えます。作られた糖分はのちに酵母のエサとなります。その後、フィルターによって麦芽粕を取り除いて麦汁だけを取り出します。



煮沸

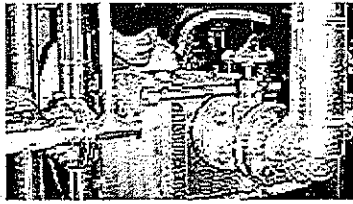


麦汁を煮沸することで、ビールに濁りをもたらすタンパク質を凝固させ、同時に殺菌も行います。

また、ここでホップを入れることで、ビール独特の苦味と香りが生まれます。



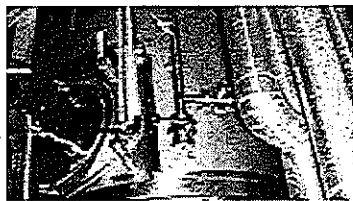
冷却



煮沸によってできた不要な固形物を取り除いた後、100℃あった麦汁の温度をここで10℃前後まで下げます。ここでいよいよ酵母を入れます。この酵母が発酵することで、麦汁からビールができるのです。



発酵・熟成



ここで酵母が糖分をアルコールと炭酸ガスに分解します。発酵が終わった若ビールは熟成することで香味が安定します。ここで炭酸ガスがビール中に溶け込みます。この発酵・熟成には下面発酵で約40日、上面発酵で約25日かかります。



ろ過



非常に細かい「珪藻土（けいそうど）」と呼ばれる砂状の物質で層を作り、その層をフィルターにしてビールを通し、酵母を取り除きます。



ろ過前



酵母を取り除く前のビール。スタウト、ヴァイツェン、ペールエールはこの状態で出荷されます。



ろ過後



酵母が取り除かれた後のビール。ピルスナーはこの状態で出荷されます。



樽詰め



一本一本手で詰めていきます。おかげで大量生産はできませんが、丹精込めて詰めています。

大山Gビールには20 L樽と10.5 L樽があります。いずれもパーティー用などにも販売しています。詳しくは店員まで。



樽



左が10.5 L樽、右が20 L樽です。



瓶詰め



同じく一本一本手で詰めていきます。こちらも大量生産はできませんが、丹精込めて詰めています。現在のところ500 ml瓶と330ml瓶があり、レストラン内の売店でお買い求めいただけます。



廃校活用策 現地で探ろう

関西自治体で初 福知山でバスツアー



教室内の状況を確認するツアーの参加者たち
(福知山市三和町千束・旧細見小)

統合で使われなくなった小学校を視察し、活用案を採る「廃校マッチングバスツアー」が23日、福知山市であった。京都府内外から飲食や観光産業などの事業者が訪れ、グラウンドや校舎の設備を確認した。

市や京都銀行などが企画した。関西の自治体では初の試み。農業散布のためのドローン操縦の練習、陸上養殖、発酵ビジネスといった活動の拠点を探しているエネルギー関連、自動車販売、酒造メーカーなど31事業者が参加。当初の定員の2倍以上となる38人が足

を運んだ。

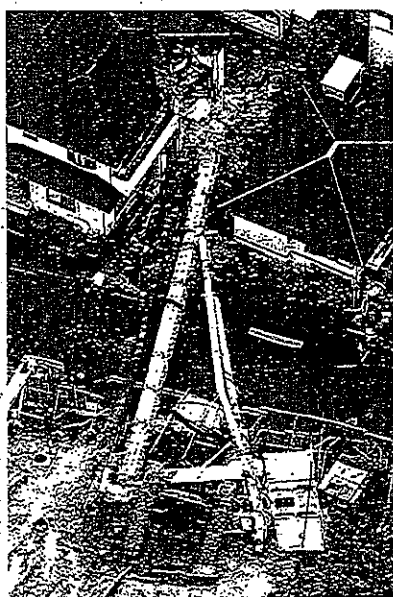
参加者は旧上六人部小をはじめ活用策が未定の3校のほか、10月にイチゴ農園が開設された旧中六人部小を見て回った。旧免原小のペランタ、旧細見小の天文

重機倒れ住宅激突

大阪、作業員が

23日午前11時50分ごろ、

大阪府河内長野市南花台3丁目の工事現場で、高さ約25メートルの重機が移動中にバラ



住宅に倒れ込んだ重機 23日午後1時39分 大阪府河内長野市(ヘリから)

ンスを崩し、電線を巻き込んで道路を挟んだ住宅2軒の敷地に倒れ込んだ。少なくとも1軒の屋根や壁が壊れ、重機を操作していた男性(71)が腰を強く打って病院に搬送されたが、命に

害といった特徴や耐震面について市職員が説明し、参加者は「用途の変更は大変か」と質問していた。大阪市のスポーツグッズ販売会社の木村に美さん(50)は「新型コロナウイルス

国内での確認	国内の新型コロナウイルス感染者
道 2681 (+51) 103	福山長坂静愛三遊京大兵幸
府 158 (+9) 21	
市 27 (+1) 2	
道 565 (+20) 2	
府 58	
市 84	
道 379 (+1) 6	
府 737 (+2) 18	
市 476 (+3) 1	
道 839 (+19) 19	
府 5557 (+40) 104	
市 4719 (+54) 76	
道 2万9706 (+186) 44	
府 8238 (+91) 16	
市 180	
道 422	
府 798 (+2) 49	

ダイヤモンドプリンセス
入船者(55名) 5172人(151)
退院者(療養解除) 8万8904人(+579)
()内は前日からの増加、再陽性

別条はない。河内長野市によると、重機は団地の解体工事でのくいを抜くために使用していた。当時は雨のため作業をせず、重機の下に鉄板を敷いて移動させていた際にパ

ルスの影響で確保が難しいスポーツの練習場所にと考えている。合宿所としての環境が整っているかも重要」と話した。ツアーは11月にも行われる。

(古都千鶴)

南丹の一部で断水

川に重油流出影響

南丹市日吉町を流れる深山川と田原川への重油流出で市が取水制限を行っている影響で、同町内の一部地域で23日、断水が発生した。市によると、24日には復旧できる見通しという。

た。油臭があるため、同日から取水制限を実施。制限が長引いた結果、23日に同町田原の約30世帯に、水が出なくなるなどの影響が出た。市は、市役所日吉支所など9カ所に無料の給水タンクを設置して対応。検査で水質基準をクリアしたため、取水制限を解除していく。(陰山篤志)

ランスを崩して倒れたとみられる。住宅には人がいたがけがはなかった。関西電力送配電によると、配電線の復旧のため、周辺の約170軒を一時停電させた。現場では重機の一部が、工事のために設置された白い壁を倒し、道路をふさいでいた。ヘルメットをかぶった複数の作業員が付近の電柱に登り、修理に当たった。周辺には規制線が張られ、住民が不安そうに眺めていた。

新型コロナウイルス
感染症に関する相談窓口
京都府(専用相談窓口)
075(414)4726
京都市(専用相談窓口)
075(222)3421
滋賀県(一般相談窓口)
077(528)3637

◆第5550回数字選択式
全国自治宝くじナンバーズ
(23日、カッコ内は口数)
<ナンバーズ3> 846
◆ストレート
88,900円(58)

◆第391回口ト7
数字選択式全国自治宝くじ
(23日、カッコ内は口数)
本数字
10, 23, 27, 32, 33, 35, 37
ボーナス数字
24, 26

◆第2665回近畿宝くじ
23日・みずほ銀行
大阪中央支店
◇1等(1500万円)
07組 118541

◆女児暴行死
池田詩梨ちゃん
が衰弱死した
責任者遺棄致死
た母親の池田利
が、11月2日に
地裁での裁判員
無罪を主張する
ことが23日、分
前整理手続が
被告が衰弱する
放置したかどう
となった。

このみは下に掲載

のち
一
時
々
数字(上)最高気温
(下)最低気温
丸囲みは50%以上
白丸は正午の風向
矢印はなし

22.14℃
22.13℃

味ひとすじ むかし
むかし
新築極上・でんわ 221-2412

京 都

丹波・丹後

10/9 土

福知山市の電気設備資材卸売会社「井上」が廃校になった市立中六人部小(同市大内)を利用し、IoT(モノのインターネット)を活用したイチゴ栽培を始めた。摘み取り体験のほか、改修した校舎でイチゴを使った染めやジャム作りのワークショップなども開く。人の集う「地域貢献型農園」を目指す。

福知山の廃校利用

いい、農業への企業参入に注目が集まっている。

福知山市は学校再編で廃校になった小学校跡地の活用で、民間からアイデアを募る「サウディング型市場調査」を実施。同社の自社技術を生かしたスマート農業への参入を有望と判断し、廃校活用事業の第一号として

IoTでイチゴ栽培

電気設備資材卸売会社「井上」



社員の案内でハウス内のイチゴ栽培を見学する福知山市の大橋一夫市長(右)＝同市大内の旧市立中六人部小で

「地域貢献型農園」を目指す

同社と2019年12月に賃貸契約を結んだ。農園は「THE 610 BASE(ムトベース)」と名付けられ、グラウンドに7棟を連結した約2200平方メートルのハウスを設け、現在は「章姫」「紅ほっぺ」「かおり野」の3品種計1万3500株が、収穫作業など

が楽な高設で栽培されている。12月から21年5月ごろまでに9〜10月の収穫を見込み、期間中にイチゴ狩りができる。

9日には現地でオープニング式があり、大橋一夫市長は「スイーツのまち福知山にとって、うれしい話だ。府内一のイチゴ産地にしてほしい」と期待を寄せた。(佐藤孝治)

離職者ら雇用で補助金

京都市の中小対象制度 府も同調

新型コロナウイルス

府は、コロナ禍のために離職した人の再就職や、所得が減った人、就職が困難な人の就職を支援するため、新たに府民を3カ月以上雇った補助金制度に府が

用した府内の中小企業などに、補助金を支給する。正規雇用は上限30万円、非正規は同10万円を交付する。京都市内は府市協調で行う。

京都市が7月に創設した補助金制度に府が乗った。京都市の事業期間を延長した上で、対象を府全域に拡大する。2020年6月1日〜21年3月15日の雇用が対象。賃金だけでなく、研修や求人広告の費用も補助対象になる。1事業所につき正

規、非正規合わせて10人まで。病院や福祉施設、保育所なども対象とした。事業者自体もコロナ禍で売り上げが減少していることが条件となる。

申請は14日11月13日に郵便で受け付ける。きょうと動画情報館(<https://youtu.be/ZDkdFhmnZs8>)で説明動画が見られる。問い合わせは14日以降、コールセンタ1(0570・200・402)で。

【大川泰弘】

新たに9人感染 府内計10人

府と京都市は8日夜、20代〜90代以上の男女計9人が新たに新型コロナウイルスに感染したと発表した。全員が無症状か軽症で、1人は感染経路が分か

府内の陽性者数

9/7〜9/13	49人
9/14〜9/20	66人
9/21〜9/27	41人
9/28〜10/4	56人
10/5〜10/8	22人

※府、京都市の発表による

幼稚園の代表者に反対材料を提示した一環(松倉会長)＝舞鶴市上笠の舞鶴自動車学校で

【矢倉健次】

旧与謝小学校活用検討委員会 視察（案）

① クラフトビール醸造所（抜粋）

- ・丹後王国ブルワリー（京丹後市）（片道約20km）
- ・SVB 京都（京都市）（片道約100km）
- ・京都醸造（京都市）（片道約110km）

② 廃校活用（抜粋）

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 福知山市 | （旧中六人部小学校） | （片道約30km） |
| 京丹波町 | （旧質美小学校） | （片道約45km） |
| 鳥取県八頭町 | （旧隼小学校） | （片道約80km） |
| 鳥取県智頭町 | （旧那岐保育所） | （片道約90km） |

③ 備考

鳥取県智頭町は旧保育所を利活用し、クラフトビール醸造所を経営されていますが、クラフトビール醸造所で小学校を利活用をしている施設はありません。

旧与謝小学校活用検討委員会 意見・質問等

R2.10.30

no	地区	意見、質問内容	町の見解 (町以外のものは【 】内に明示)
1	金屋	与謝小に介護施設が入る話はあったか。	10年ほど前に与謝区内に介護施設の設置を考えたが、住民理解が得られなかったため断念した。以後、そのような計画は無い。
2	金屋	桑飼小に入る予定の福祉施設が与謝小に来ることはないか。	与謝の園を運営する社会福祉法人北星会からの要望で、移転先として町有地の使用を希望された時点で、与謝小学校、岩屋小学校、桑飼小学校を候補地として示した。 地域も受け入れに前向きであり、法人としても、長年明石区域で運営してきたことによる地域との関係性と利用者の利便性の点から桑飼小学校という判断になった。
3	与謝	岩屋小はどうなっているのか。給食センターか。	町の方針は、岩屋小学校校舎を取り壊し、その跡地に給食センターを建設する計画としている。
4	金屋	給食センターについてはどうなったのか。	岩屋区へは町長から岩屋区へ方針を説明済み。 上記の方針のため、与謝小学校への建設については予定していない。
5	委員会	スピード感が必要。与謝野酒造一社がまず入るという考え方もあるが、特に耐震補強の部分が与謝野酒造の判断を左右すると思う。町は耐震補強の必要ない計画をと言うが、機械設備となると簡単にいかないのでは、地域振興支援策など、他の利用を含む全体的な検討をする方が与謝野酒造の負担の面で有効とも思える。	町においては、補助事業、地域振興支援策などを議論・検討しているが結論には至っていない。 与謝野酒造と事務局は、継続して協議を行う中で、「与謝小学校の利活用にとっては統括管理者を含めた校舎全体の計画の策定が有効とし、そのためには、時間が必要なため開業希望時期を延長(R4)する」方針に変更した。→本日の検討委員会で提案。
6	正副委員長会議	「公共施設等総合管理計画実施計画」は最初から分かっていたのでは？その整理後に検討すれば良かったのでは。	「公共施設等総合管理計画実施計画」は分かっていた。しかし、何も言わなければ朽ちていくだけで、何か提案しないと議論にならないと思い、与謝野酒造の意向もあったので、町から「地域で考えてもらう、たたき台」を提案した。具体的に動き出さないと何も始まらないと判断しスタートを切った。
7	正副委員長会議	小学校は地域のシンボルだ。コミュニティの象徴だ。これまで学校統合に理解と協力をしてきた。そういう地域の思いを町は受け入れてもらいたい。	思いを理解し、校舎を取り壊さない利活用の実現に向け尽力する。 7月以降続けてきた町内部の議論も、「町の廃校利活用の基本方針」の作成が始まるなど進捗はしている。